

南区ボランティア情報

2020年3月

83号

Palette通信

社会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会 南区ボランティアセンター

〒734-8523 広島市南区皆実町一丁目4-46(南区地域福祉センター内)

TEL (082) 251-0525 FAX (082) 256-0990

E-mail minami@shakyohiroshima-city.or.jp

南区ボランティア連絡会研修会のご報告

南区ボランティア連絡会が2月12日(水)に研修会を開催しました。

内容は「ボッチャについて学び、体験してみよう!」でした。ボッチャとは重度の脳性まひや四肢に障害のある人のためにヨーロッパで考案されたスポーツです。ジャックボールと呼ばれる白い球に赤、青それぞれ6球ずつのボールをどれだけ近づけられるかを競います。



2つのチームに分かれて競いました。ボールは上から投げてでも下から投げてでも、あるいは蹴ってもいいそうです。下から投げると、思ったよりも転がっていき、「力が入りすぎた」との声が聞かれました。白ボールの近くに球が行くと、拍手や歓声がおこりました。参加者からは「ボッチャのルールがわかった」「楽しかった」などの声が聞かれました。



講師は広島大学霞アダプテッドスポーツクラブの方に来ていただきました。ボッチャという競技は老若男女、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が競い合えるスポーツ。一般参加の大会、イベントも多数開催されています。

ボッチャは1988年からパラリンピックの正式競技となりました。



ボランティアグループ紹介

『洋光台シルバークラブ』

洋光台シルバークラブは向洋新町のいきいきサロンをしているグループで平成5年5月に発足しました。平成元年に新しい団地ができ、友達が周りにいない、高齢者の集う場がほしい、そのような思いをもつ方が友達づくりを始めようと周りの人に声をかけ、集う場づくりが始まりました。最初の頃は会場もなく12人くらいが公園に集まり話をするところから始まりました。集いの場のチラシを作って家のポストに入れて広報活動をしていきました。今では向洋新町会館に月1回30人くらいの参加者になりました。ボランティアのメンバーは12人。毎月のサロンではさまざまな行事、食事会を行っています。ボランティアさんは「参加者から食事が美味しかった、楽しかったと言ってもらえるのが嬉しい。」「ここに来たら、ボランティアの仲間に会えるから楽しみです。」と話されていました。向洋新町会館に行ったら、『誰かと楽しくお茶ができる、お友達ができる』そんなサロンです。



1月15日にサロンを訪問させていただきました。民謡グループさんが会場を楽しく盛り上げてくれました。参加者は「毎月ここに来るのが楽しみ」と笑顔で話されていました。

活動日時：第3水曜日 10:30～12:30

活動場所：向洋新町会館

ヤングボランティアスクール2019開催しました

ヤングボランティアスクールを2月8日（土）に開催しました。高校生から大学生までの青少年合わせて18名が参加して視覚障害者と一緒に楠那地区の名所を訪ねました。当日は楠那学区社協の方が案内してくださり、お天気にも恵まれ、あたたかな日差しの中、散策を楽しむことができました。学生は視覚障害者と散策することで、ガイドするときに気をつけること、白杖をもった方への対応など学びました。散策後は南区3名山「比治山」「黄金山」「安芸小富士」をイメージしたスイーツをいただきました。この講座を通して視覚障害者への理解を深め、地域への愛着を持っていたただけたのではないかと思います。毎年青少年を対象とした講座を開催しています。今後も福祉に関心を持ってもらえるような講座を企画していきたいです。



「大丈夫ですか、疲れていませんか」学生さんのあたたかい声かけが聞かれました。



楠那の史跡をたどり、時代の移り変わりを知ることができました。



散策後は南区3名山スイーツを食べて、ふりかえりを行いました✿

郷土資料館ではボランティアさんが教室事業の指導、来館団体の対応（展示解説・昔の暮らし体験の指導）を行っています。1月29日、郷土資料館に大河小学校3年生が来られました。この日は3人のボランティアさんが①昔の暮らし（約60年前の暮らし）展示解説②石臼体験③牡蠣養殖展示解説をされました。活動後に3人のボランティアさんにお話を伺いました。

① 昔の暮らし展示解説

自分の経験をもとに話をしている。子どもにわかりやすく、昔の様子を伝えるにはどうしたら良いか説明の仕方に工夫している。自分の成長にもつながるし、子どものいきいきとした姿をみるのが楽しい。以前子どもから感想文をもらったことがあり、とても嬉しかった。



❖昔のテレビ、電話、洗濯機に子ども達は興味津々でした(^^)

② 石臼体験

石臼は豆や木の実など硬いものを粉にする道具。反時計回りに回すと中から外へ粉が出てくるようになっている。石臼を回すのは重たく、子どもの安全を第一に説明をしている。子どもからは「重たい」「固い、粉がでてきたー」などの声が聞かれ、子どもの反応をみるのが楽しい。



❖豆が粉になって、子ども達から「きなこのにおいがする」「きなこ餅が食べたい」などの声が聞かれました(^^)

③ 牡蠣養殖展示解説

解説については自分で勉強したり、わからないことは学芸員さんに聞いている。誰にでもすぐにできるのではなく、毎回資料をもとにわかりやすい説明をするよう心掛けている。



❖子ども達はボランティアさんの牡蠣養殖についてのお話を熱心にメモを取りながら聞いていました(^^)

【お問い合わせ】広島市郷土資料館

電話番号 082-253-6771

HP アドレス <http://www.cf.city.hiroshima.jp/kyodo/>

ボランティアの皆さん、取材にご協力いただき、ありがとうございました。

ぜひご参加ください

個人ボランティアの集い

令和元年6月28日（金）から個人ボランティアの集いを始めました。「何かボランティア活動をしたい」と思われている方が集まり、ボランティア活動や講座などの情報を得たり、同じ思いをもつ人たちと仲間をつくり一緒に活動の場を広げていく活動をしています。これまで参加者とお話をしたり、紙芝居、もの作り、ゲームや演芸などレクリエーションを通じて親睦を深めてきました。皆さまのご参加をお待ちしています❖

☀日時	毎週金曜日 10:00～12:00 ※この時間帯で、ご都合の良い時間でお越しください。 ※事前予約や申し込みは不要です。
☀場所	南区役所別館 (広島市南区皆実町一丁目4-46)
☀内容	ボランティアに関する情報交換など
☀対象	ボランティア活動に興味がある方
☀参加費	無料

令和2年度 ボランティア活動保険 改定のお知らせ

【ボランティア活動保険】

ボランティアの増加とともに事故の発生も増加するなか、保険料を据え置きながら制度を維持するため、これまでの4プランを2プランに整理します。

① 基本プラン

② 天災・地震補償プラン

＜基本プランと天災・地震プランの違い＞

平時・災害時とも、地震・津波・噴火に起因する死傷について、
基本プランでは補償対象外、天災・地震補償プランでは補償対象となります。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。

活動中の二次被害への備えとしても、あらかじめ②の天災・地震補償プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

【令和2年度加入プラン】

保険金額	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
死亡保険金		1,040 万円	1,040 円
後遺障害保険金（限度額）		1,040 万円	1,040 円
入院保険金日額		6,500 円	6,500 円
手術 保険金	入院中の手術 通院中の手術	65,000 円 32,500 円	65,000 円 32,500 円
通院保険金日額		4,000 円	4,000 円
地震・噴火・津波によるケガ		×	○
賠償責任（限度額）		5億円	5億円
保険料		350円	500円

※基本プランの保険金額および保険料は従来の基本タイプ A プランと同一、天災・地震補償プランの保険金額および保険料は従来の天災タイプ A プランと同一です。

◆ボランティア行事用保険につきましては保険料・ 保険金額・保険内容ともに改正はありません。

職員紹介

くろせ ゆうこ
黒瀬 裕子

生活支援コーディネーターの戸田主事の代理で
9月30日より中区社協から応援に来ました黒瀬です。住民同士がつながりながら、役割を持って生活できる地域づくりのお手伝いできればと思います。

おおた なつみ
太田 奈津美

10月1日より南区社協に配属となりました。南区についてまだまだ知らないことばかりで、ボランティアの皆様に教えていただきながら成長していきたいと思っています。社協にお越しの際はぜひお声かけください。よろしくお願いします。

